風神・雷神

中仙町上鶯野字高橋

上鶯野高橋には九尺四面社の中に三体の石像が祭られ、俗称風神・雷神と呼ばれている。これは天明三年につくられたもので、東北の大飢饉で多くの南部難民がここまで入り死亡した年であった。お天気の神として長雨の晴れることや旱魃の雨乞いをしてきている。雨乞いまつりの数多くの伝説事例が残されている。